

# シーシーエス株式会社

## 2012年7月期決算説明



2012年9月13日

JASDAQ コード6669

# 目次

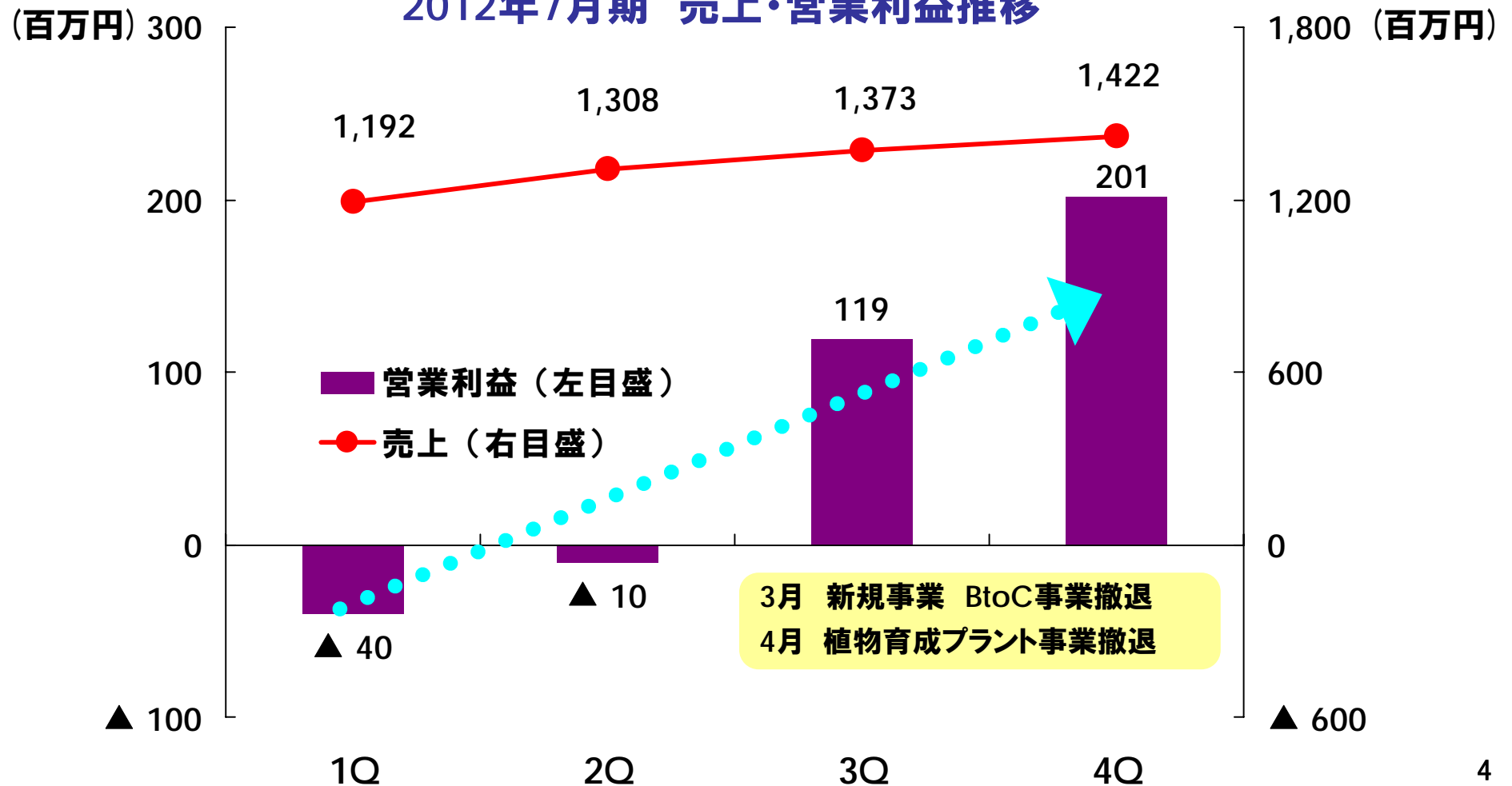
1. 2012年7月期 決算概要
2. 2012年7月期 事業分野別の状況
3. 中期経営計画
4. 2013年7月期 通期計画
5. 参考資料～会社概要

# 1. 2012年7月期 決算概要

# 2012年7月期 決算ハイライト

不採算事業の撤退により収益性は急速に改善へ

### 2012年7月期 売上・営業利益推移



# 決算キーポイント

## MV事業は堅調、為替の影響の一方で経費削減が進行

為替影響額 ▲91百万円

販売管理費 ▲153百万円(前期比5.2%削減)

## 新規事業 コンシューマー向け事業からの撤退

2012年3月 コンシューマー向け製品開発を中止

2012年4月 事業構造改善費用36百万円を特別損失に計上

## 植物育成プラント事業から完全撤退、FPT解散

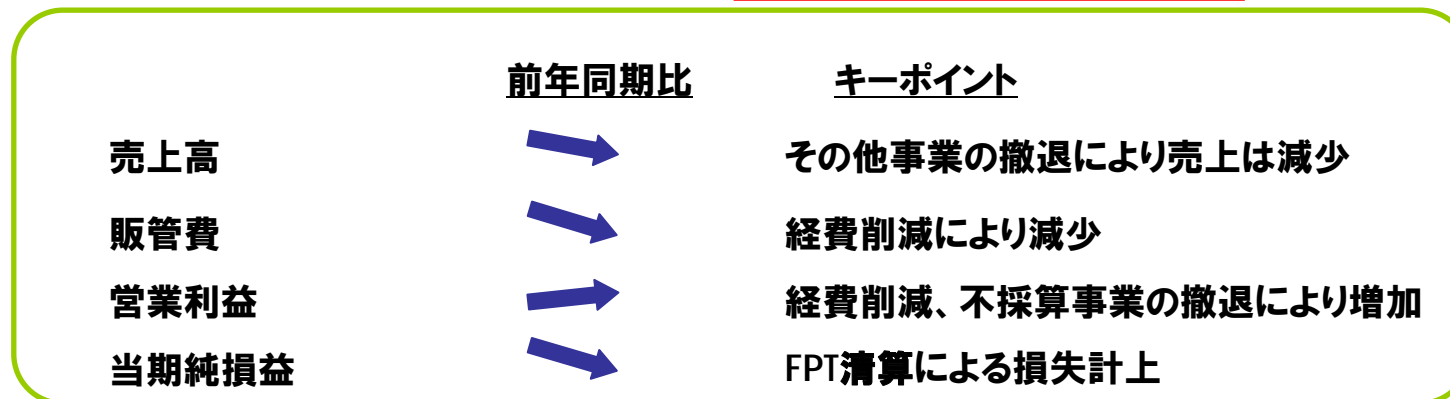
2012年4月 植物育成プラント事業を廃止

2012年7月 FPT解散、特別清算申立  
関係会社整理損346百万円特別損失に計上

# 2012年7月期 連結業績

(単位:百万円)

	2011/7期		2012/7期		増減	
	累計実績		累計実績		前年同期比	
	金額 [A]	売上比 (%)	金額 [B]	売上比 (%)	[B]-[A]	[B]/[A]-1 (%)
売上高	5,314	100.0	5,296	100.0	▲17	▲0.3
売上総利益	3,191	60.1	3,080	58.2	▲111	▲3.5
販管費	2,963	55.8	2,810	53.1	▲153	▲5.2
営業利益	228	4.3	269	5.1	+41	+18.3
経常利益	179	3.4	211	4.0	+32	+18.3
当期純損益	89	1.7	▲115	▲2.2	▲204	-



# 事業別の状況

(単位:百万円)

売上高	2011/7 期	2012/7 期	増減	
	累計実績 [A]	累計実績 [B]	前年同期比 [B] - [A]	[B] / [A] - 1(%)
LED照明事業	5,175	5,242	+67	+1.5
植物育成プラント事業	51	54	+3	+5.9
その他事業	87	—	▲87	—

その他事業(野菜事業、レストラン・カフェ事業)撤退により、売上は減少しました。

(単位:百万円)

営業利益	2011/7 期	2012/7 期	増減	
	累計実績 [A]	累計実績 [B]	前年同期比 [B] - [A]	[B] / [A] - 1(%)
LED照明事業	533	408	▲124	▲23.4
植物育成プラント事業	▲233	▲140	+92	—
その他事業	▲58	—	+58	—

その他事業～野菜事業、レストラン・カフェ事業(その他事業)は2010年9月をもちまして撤退しました。  
植物育成プラント事業は2012年4月をもちまして撤退しました。

# 貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

資産	11/7 期末	12/7 期末	負債・純資産	11 /7 期末	12/7 期末
現金及び預金	1,763	1,207	流動負債	2,956	2,146
受取手形・売掛金	1,324	1,425	固定負債	1,126	1,447
たな卸資産	1,025	1,077			
その他	167	230			
<b>流動資産合計</b>	<b>4,281</b>	<b>3,941</b>	<b>負債合計</b>	<b>4,082</b>	<b>3,593</b>
有形固定資産	1,704	1,400	資本金	461	462
無形固定資産	65	56	資本剰余金	1,513	1,514
投資その他の資産	127	95	利益剰余金	249	93
			為替換算調整勘定	▲127	▲169
<b>固定資産合計</b>	<b>1,897</b>	<b>1,553</b>	<b>純資産合計</b>	<b>2,097</b>	<b>1,900</b>
<b>資産合計</b>	<b>6,179</b>	<b>5,494</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>6,179</b>	<b>5,494</b>

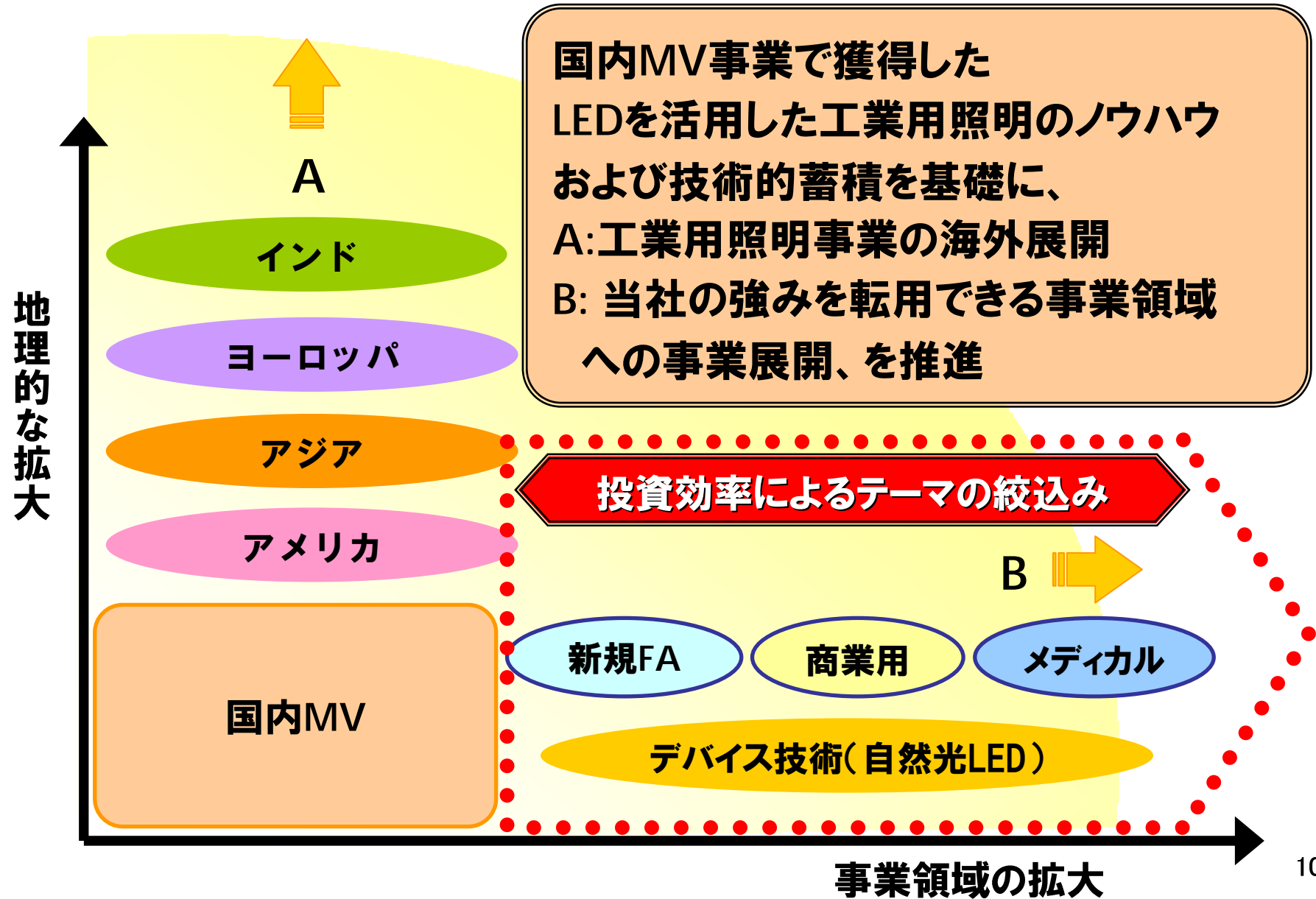
短期借入金を長期借入金へ借り換えしたこと等により、流動負債が減少し、固定負債が増加。また長期借入金の返済が進み、現金及び預金が減少しました。



## 2. 2012年7月期 事業分野別の状況

- ① 当社の事業戦略
- ② 工業用照明事業
- ③ 新規事業
- ④ 植物育成プラント事業

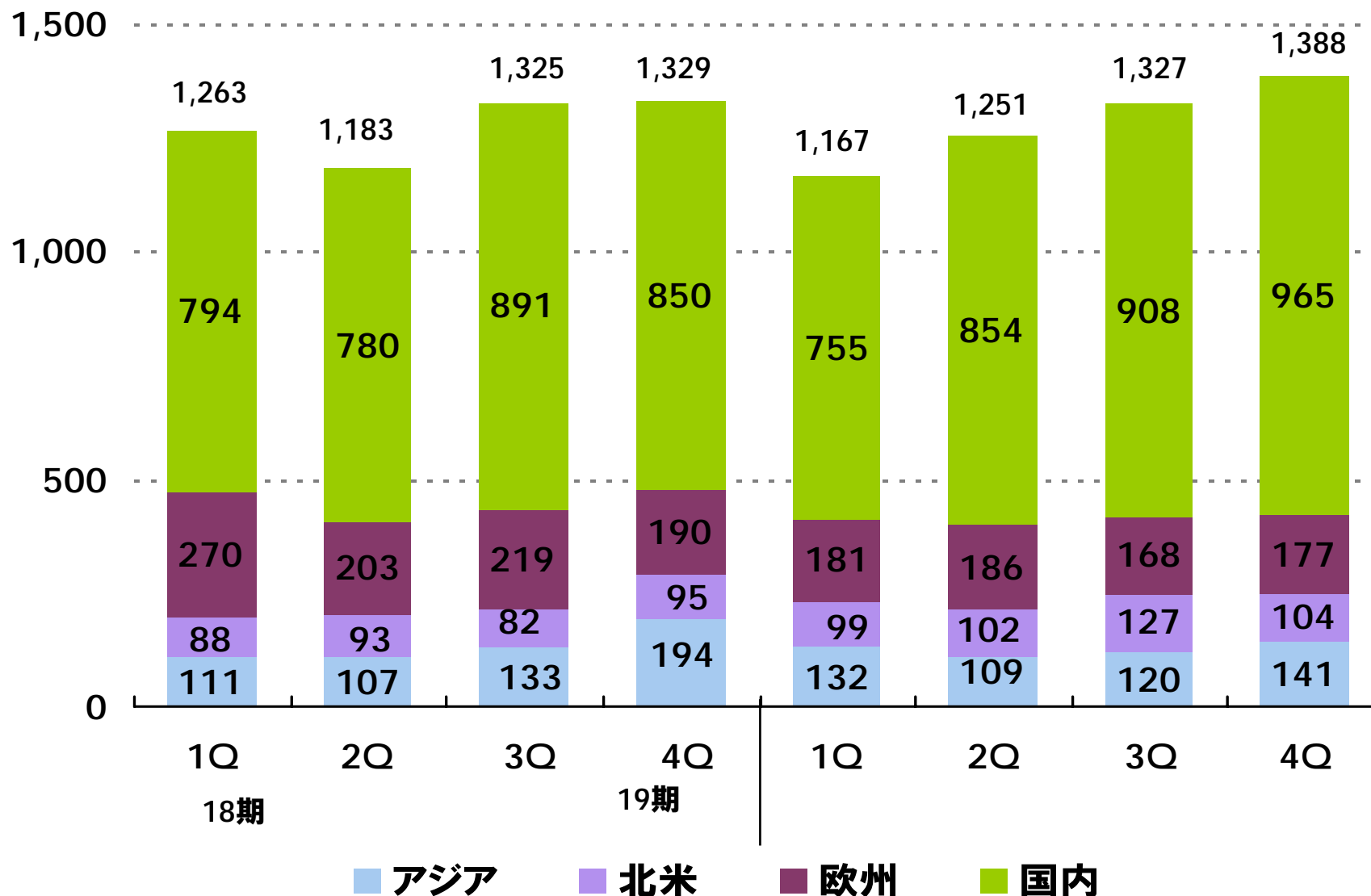
# ①当社の事業戦略



# ②工業用照明事業 地域別売上高(四半期毎)



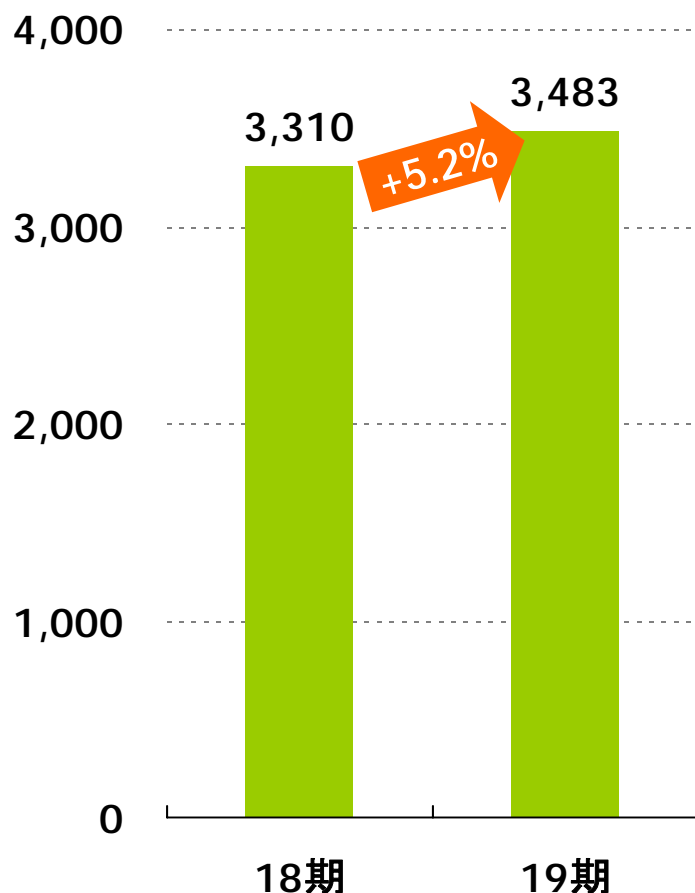
(単位:百万円) (2011年7月期1Q~2012年7月期4Q)



## ②工業用照明事業(国内)

### 外部環境:東日本大震災からの回復、設備投資の海外移転

(単位:百万円)

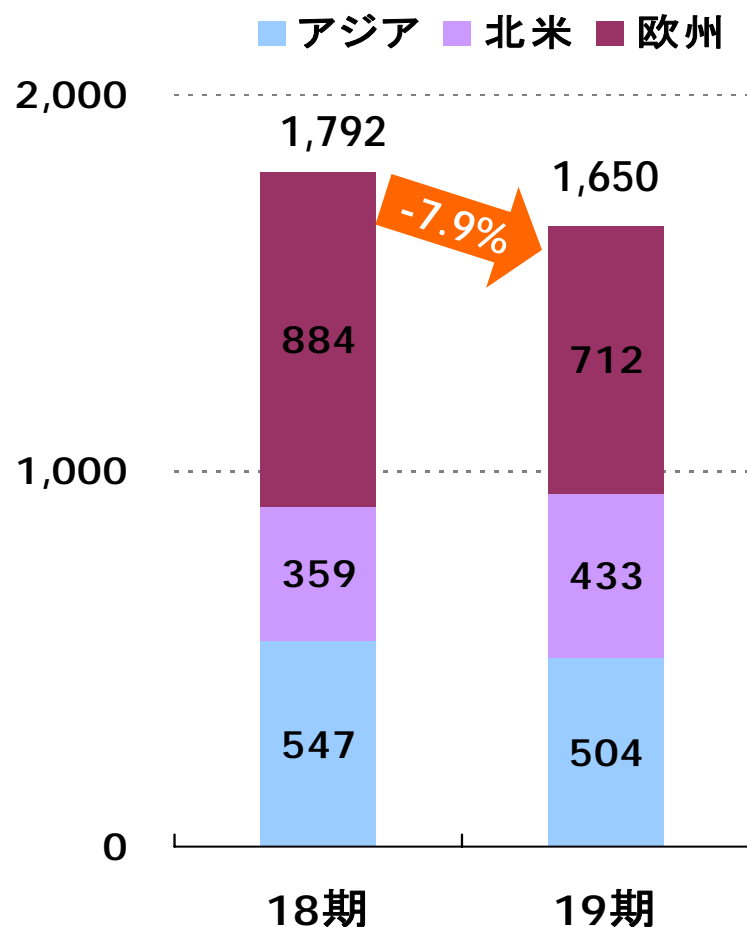


当社の状況	
電子半導体業界	スマートフォン・ タブレットPC向けは好調 ミラーレス一眼レフ向けも好調
太陽電池業界	投資一巡、価格競争激化、中韓 メーカーの猛追で減少傾向
二次電池業界	リチウムイオン電池向けが好調
自動車業界	次世代自動車研究開発向け試作 案件は増加傾向
三品業界(食品・ 薬品・化粧品)	製缶・容器・ペットボトルを中心に堅 調に推移 また薬品関連も安定して推移
UV照射器・ ラインセンサ領域	新規顧客・新規アプリの開拓順調

## ②工業用照明事業(海外)

### 外部環境：欧州経済危機の長期化、新興国経済の成長率鈍化

(単位:百万円)



#### 当社の状況

◎為替影響額91百万円。(欧州64百万円、北米21百万円、アジア5百万円)

<2011/7期レート>

1USD=82.48円 1EUR=113.39円 1SGD=64.40円

<2012/7期レート>

1USD=78.66円 1EUR=104.03円 1SGD=62.32円

- ・欧州：欧州経済危機やユーロ安の進行により売上は減少。
- ・北米：主要顧客への関係強化および、営業強化が実を結び、売上伸長。
- ・アジア：韓国・台湾の液晶関連設備投資抑制の影響を受け売上は減少。

## ②工業用照明事業(トピックス)

### 製品ラインナップを更に充実(新製品の投入)

- ・蛍光灯市場への置換え需要に対応、  
ラインセンサ用LED照明「LND2シリーズ」発売(2012年5月発売)

フィルムや液晶などの検査に最適。

ライフサイクルコストの大幅な削減を提案。



LND2シリーズ

- ・独自の光学系技術によりレーザー光に近い光を実現、  
スリット光LED照明「LSシリーズ」発売 (2012年7月発売)

LED照明業界では最も細い1.2mm幅の照射を可能に。

3D測定や高精度検査市場の新たな市場を開拓。

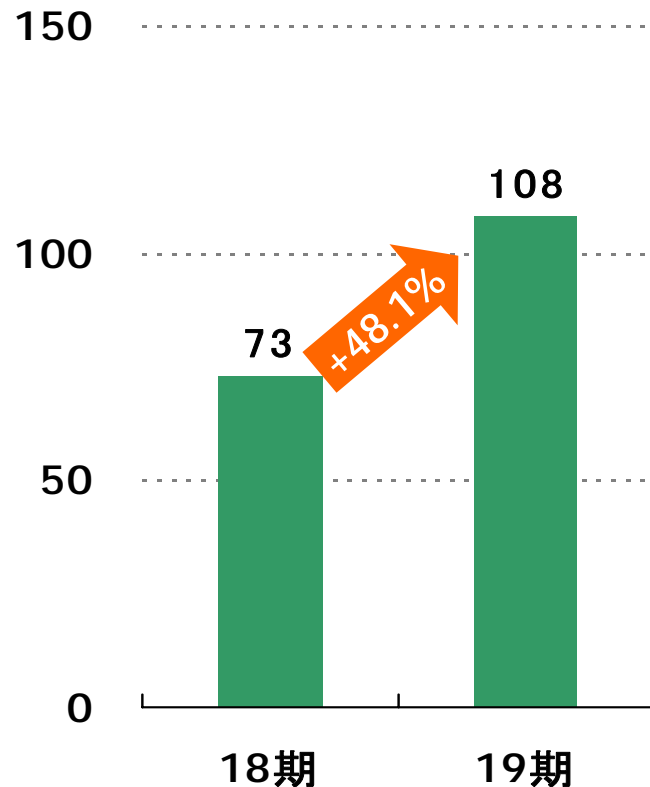


LSシリーズ

# ③新規事業

## 外部環境：民生用LED照明価格競争激化、価格下落

(単位:百万円)



### 当社の状況

◎**コンシューマー向け製品開発を中止、優位性を持って展開できる事業領域に特化。**  
→**営業利益改善傾向へ。**

・**山口県立美術館にて演色性の高さが評価され採用(2012年4月)。**

・**メディカル向け製品開発を完了し、メディカル分野へ本格参入(2012年4月)。**

・**スポットLED照明「MUSEUM COB SPOT LIGHT」を初めて美術館・博物館用の標準照明として開発。**

### ③新規事業(トピックス)

## 「自然光LED」製品を中心とした製品ラインナップの拡充

・美術館・博物館用スポットLED照明

「MUSEUM COB SPOT LIGHT」を発売(2012年8月)



MUSEUM COB SPOT LIGHT

- ・「自然光LED」搭載スポットライト
- ・Ra:96(平均演色評価数)
- ・配光ムラ、色ムラがなく美しく優しい光を実現。

### ・山口県立美術館で採用

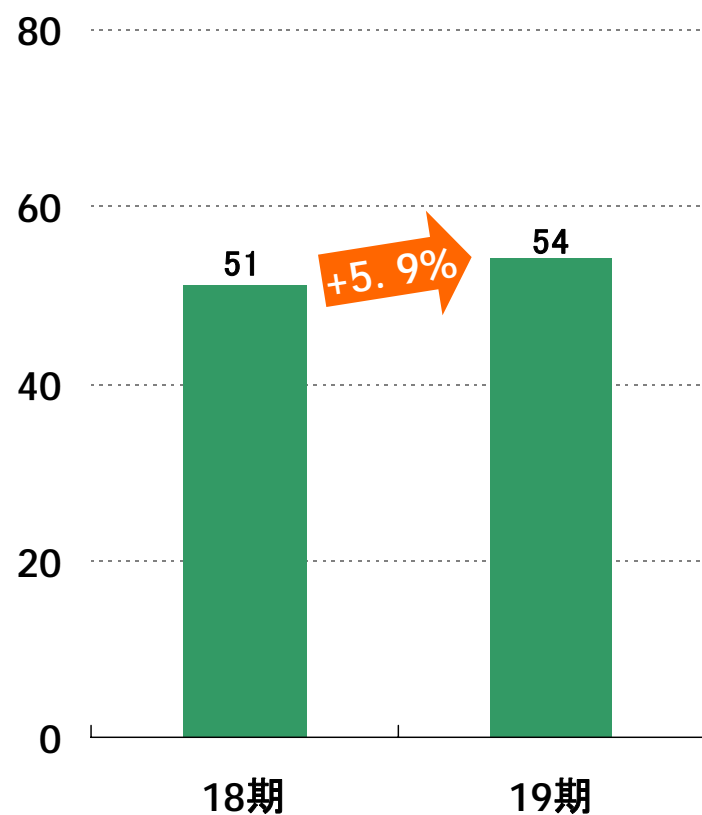
- ・2012年4月26日リニューアルオープンの山口県立美術館 展示室Cで演色性の高さが評価され採用。
- ・平均演色評価数 Ra:95以上  
(相関色温度:3,000 K~5,000 K)





# ④植物育成プラント事業

(単位:百万円)



## 当社の状況

◎アライアンスによる受託栽培を開始したものの、利益確保には至らず中止。

- 2012年4月末日をもって植物育成プラント事業から撤退。
- 2012年7月26日 FPT解散。

## 3. 中期経営計画

# 『3つの基本方針』と『3つの重要戦略』

## 経営基盤の強化

- ① 財務体質の強化
- ② 人材力, 組織力の強化
- ③ 品質行政の充実強化

## MV事業の強化と 新規事業の堅実拡大

- ① 国内MV
- ② 海外MV
- ③ 新規事業

## 開発力の 強化と革新

- ① 製品企画力
- ② 技術開発力
- ③ ものづくり力

# 経営基盤の強化

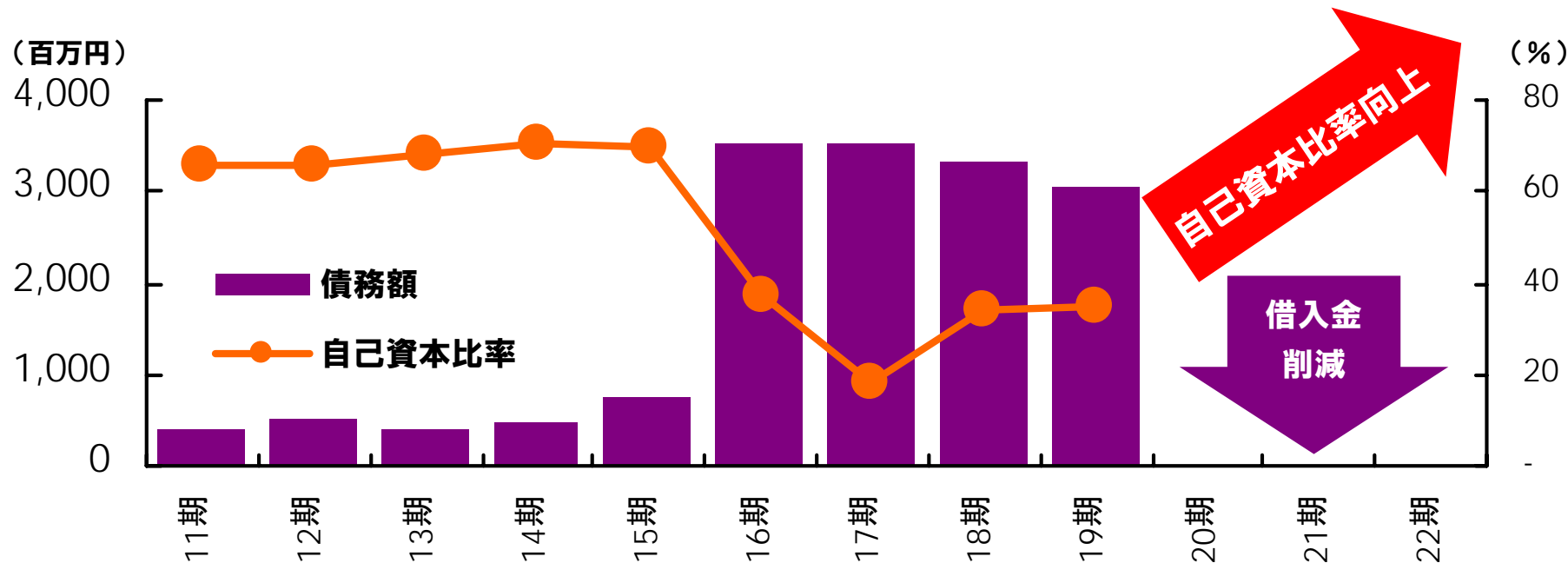
## 財務体質の強化

中期目標：筋肉質でスリムな高収益企業体質への改革

不採算事業の撤退、新規事業建直し

コスト削減による収益性改善

効率的な資金運用(在庫圧縮、売掛・買掛金サイト改善)



# MV事業強化と新規事業の堅実拡大

## ①国内MV事業

### 中期目標：断トトップシェア奪回

現場重視の製品企画機能の組織化・強化

ロイヤルカスタマーの拡大・信頼関係強化、新規顧客の開拓

ラインセンサ用照明、UV照射器事業確立

#### ■MV事業

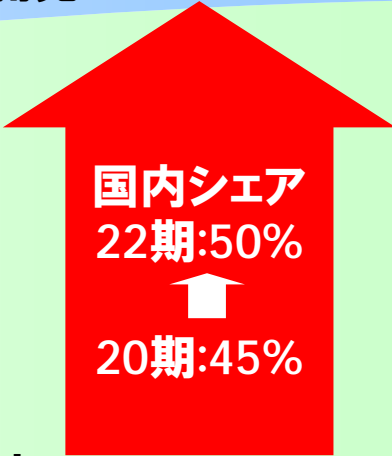
ユーザー開発部隊との関係強化による顧客ニーズにあった製品開発  
顧客との強力な信頼関係を構築できる営業マンの育成・強化

#### ■ラインセンサ用

ラインセンサ検査装置専門メーカーの徹底開拓  
ラインセンサ検査専用照明の製品開発、ラインアップの拡充

#### ■UV照射器、顕微鏡

UV照射器標準照明の投入、ラインアップ拡充  
顕微鏡製品拡充、検査・測定アプリの開拓、目視事業領域の拡大



国内シェア  
22期:50%  
↑  
20期:45%

## ②海外MV事業

中期目標：海外シフト加速、提携戦略による全地域トップシェア奪取

海外ニーズ適合製品の企画推進・市場投入

業務・資本提携戦略の推進

営業力の海外シフトの推進

### ■海外ニーズにあった製品企画

海外ニーズ適合製品の創出

中国市場攻略のための2ndブランドの構築

### ■業務・資本提携戦略の推進

スピードとコスト競争力を目的とした業務提携の積極推進

現地調達・現地生産

### ■戦力の海外シフトの推進

国内営業力(国内営業経験者)による日系企業・現地装置メーカーサポート

技術・生産要員による海外での直接活動



海外シェア  
22期:25%  
↑  
20期:20%

# MV事業強化と新規事業の堅実拡大

## ③新規事業

中期目標：CCSの優位性を活用し、新規事業でのブランド確立

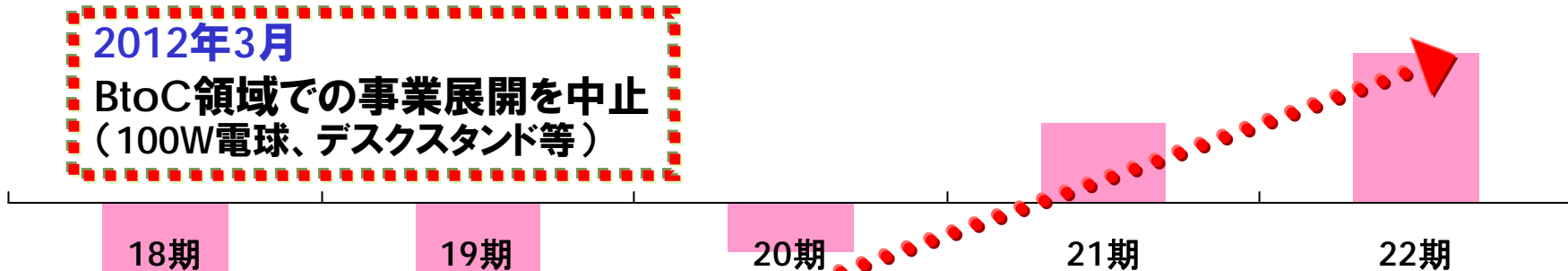
推進体制のスリム化

継続的に利益の獲得が見込める事業に限定した事業展開

利益を出せるビジネスユニット集積による『かずのご経営』

2012年3月

BtoC領域での事業展開を中止  
(100W電球、デスクスタンド等)



営業利益確保へ

- ①メディカル事業
- ②美術館・博物館照明事業
- ③かずのご事業  
(モジュールビジネス, 植物育成用照明etc)

# 開発力の強化と革新

## 製品企画力・開発力の強化

**中期目標：市場ニーズを先読みした業界をリードする製品開発**

ユーザー開発部隊とのパイプ開拓・拡大

現場重視の製品企画機能の組織化・強化

技術シーズを顧客提案する応用技術開発機能の新設

## コア技術育成の強化

- ・ デバイス技術の徹底した深掘りと先行開発
- ・ 通信系を含むシステム化、有機EL、可視光領域からの拡張
- ・ 評価技術の強化

## ものづくり原点回帰

- ・ ものづくりコア技術の育成
- ・ 外注マネジメントの強化
- ・ 海外生産の可能性調査と海外調達の強力な推進

**新製品の連打  
価格対応力の強化**



# シーシーエスのミッション

社是 : 『お客様に愛と感謝』

企業理念: 『光を科学し、社会に貢献する』

基本方針: 顧客満足最大化のために

- |                  |            |
|------------------|------------|
| ① 不良品を世に出さない     | (顧客に「安心」を) |
| ② ビジネススピードを追求する  | (顧客に「信頼」を) |
| ③ 顧客の付加価値を創造し続ける | (顧客に「感動」を) |

企業の目的は**顧客創造**である (ドラッカー: 著書「マネジメント」)

そのために、「**お客様満足**」と「**お客様感動**」を実現する。

世の中や人を幸せにして自らも幸せを感じる。

「ホスピタリティ」の実践

## 4. 2013年7月期 通期計画

# 2013年7月期計画(連結)



(単位:百万円)

	2012年7月期実績		2013年7月期計画		増減	
	金額 [A]	対売上比 (%)	金額 [B]	対売上比 (%)	[B]-[A]	[B]/[A]-1 (%)
売上高	5,296	100.0	5,650	100.0	+354	+6.7
売上総利益	3,080	58.2	3,250	57.5	+170	+5.5
販管費	2,810	53.1	2,850	50.4	+40	+1.4
営業損益	269	5.1	400	7.1	+131	+48.7
経常損益	211	4.0	350	6.2	+139	+65.9
当期純損益	▲115	▲2.2	350	6.2	+515	—

## 変革と挑戦

### 国内MV事業:

断トツトップシェアへの再挑戦

### 海外事業:

海外事業基盤の強化と事業拡大加速

### 新規事業:

ビジネスターゲットの厳選・集約

ビジネスユニット集積による「かずのこ経営」

## 5. 参考資料 ～会社概要～

## 光を科学し、社会に貢献する

Creative Customer Satisfaction  
クリエイティブ カスタマー サティスファクション

『お客様に愛と感謝』を実践するために、  
「QUALITY FIRST」を堅持し、  
顧客の付加価値の創造を極めることによって、  
「安心」と「信頼」と「感動」を提供し、  
お客様満足の最大化をはかります。

# 会社概要

- 商号 シーシーエス株式会社
- 本社所在地 京都府京都市上京区烏丸通下立売上ル桜鶴円町374
- 代表者 代表執行役社長 各務 嘉郎
- 創業 1992年
- 設立 1993年10月
- 資本金 462百万円
- 従業員数 連結 206名(連結)、180名(単体)
- 発行済株式総数 普通株式 20,690株  
A種優先株式 5,103株
- 株主数 普通株式 2,701名  
A種優先株式 4名
- 連結子会社 CCS America Inc. / CCS Asia PTE.LTD./ CCS Europe NV./CCS-ELUX LIGHTING ENGINEERING PVT.LTD.
- 拠点数 国内 6ヵ所 / 海外(連結子会社含む) 7ヶ所



本社(京都市上京区)

(2012年7月末現在)

# 沿革

- 1992 創業
- 1993 シーシーエス株式会社設立
- 1999 CCS America Inc.(100%子会社)を設立(ボストン)
- 2000 東京営業所を開設(品川区高輪台)
- 2001 本社移転(現在の本社)
- 2003 上海事務所を開設(中国 上海市)
- 2004 ジャスダックに上場  
RDV(S)PTE LTD社を子会社化(シンガポール)  
CCS Europe NV(100%子会社)を設立(ベルギー)
- 2007 生産拠点と物流拠点を統合し、生産センターを開設(京都市下京区)  
仙台テストングループを開設(宮城県仙台市青葉区)  
KRPで研究開発事務所を開設(京都市下京区)  
山口大学との共同開発で「自然光LED」照明を開発
- 2008 シーシーエス光技術研究所を開設(京都市上京区)  
深セン駐在員事務所を開設(中国広東省深セン市)  
名古屋営業所を開設(名古屋市中村区)  
植物育成プラント事業に参画することを目的としてフェアリープラントテクノロジー社  
(2010年9月29日フェアリーエンジェル社より商号変更)を連結子会社化
- 2009 医療機器製造業および第三種医療機器製造販売業に関する許可を取得
- 2010 タイ・バンコクにCCS Asia PTE.LTD.駐在員事務所を開設
- 2011 CCS-ELUX LIGHTING ENGINEERING PVD.LTDを設立(インド)
- 2012 連結子会社であるフェアリープラントテクノロジーを解散



# シーシーエスの事業領域

## 新規事業分野



### 工業用照明分野

マシンビジョン用照明分野

(エリア照明・ラインセンサ用照明)

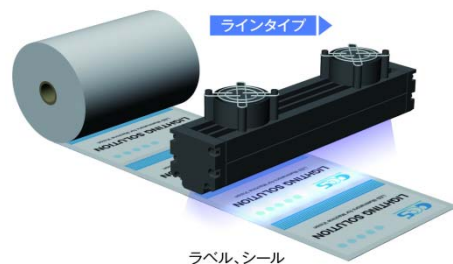


新規FA分野照明

(UV照射器

顕微鏡用照明)

■ UVインクの硬化



ラベル、シール

商業分野

美術館・博物館用照明



メディカル分野



アグリバイオ分野



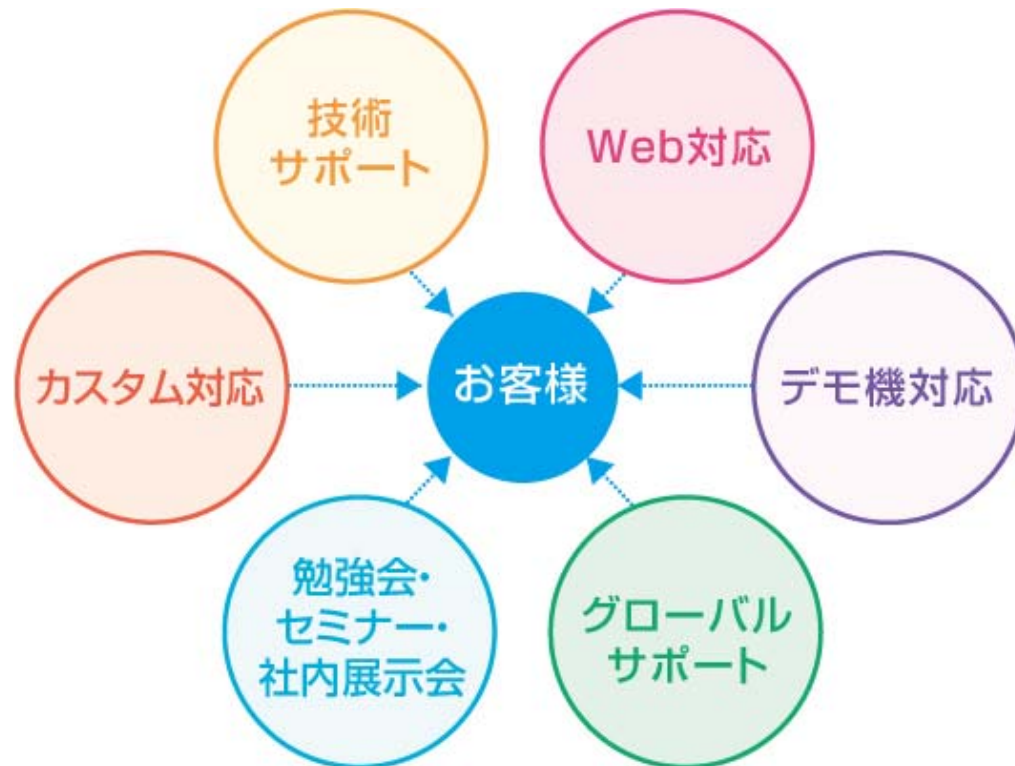
# MV用LED照明のリーディングカンパニー

1993年創業以来、  
画像処理用LED照明の専門メーカーとして信頼の実績

- ・約40,000件以上のワーク撮像
- ・約4,000種類のカスタム照明を設計・開発・製作



# サポート体制



エリア実験室



ライン実験室

**数百種類・数千台に及ぶ  
無料貸出機を準備**

**エリア実験室・ライン実験室を完備**

# LEDデバイス技術 「自然光LED」

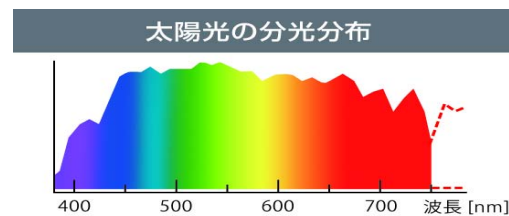


独自に開発した太陽光に近い光を再現する

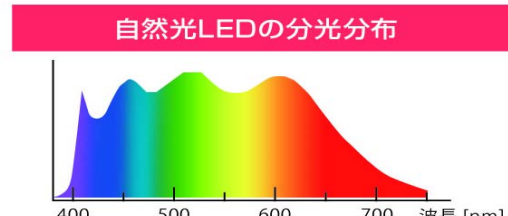
「自然光LED」

色の再現性を標準化・数値化した平均演色評価数において、  
業界最高クラス“Ra98”(相関色温度:5000 K)を達成

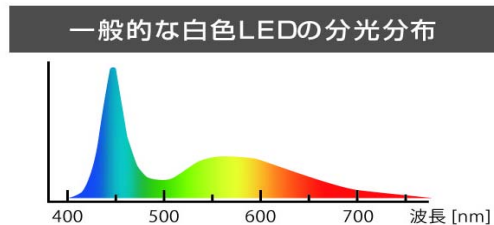
## ＊光の種類別スペクトル分布図例



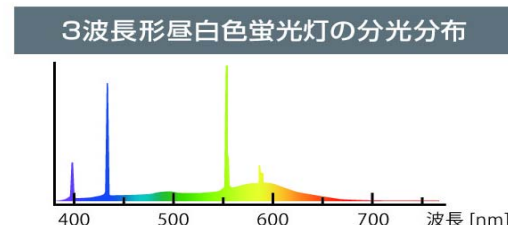
最も自然な色表現の太陽光



太陽光に近いスペクトルで  
物体の色を忠実に再現



青色が強く、物体の色の再現が  
不十分



特定の波長の強度が高く、  
物体の色の再現が不十分



「自然光LED」  
(平均演色評価数 Ra:98)



3波長蛍光灯 (Ra=70)

# 「自然光LED」搭載照明の商品化に注力

商業施設の商品ディスプレイ用、ショーケース用照明

高い演色性  
そのものの色を忠実に再現!

アパレル

洋服やネクタイ、バックや宝石、化粧品などの本来の色を忠実に再現!



自然光LED

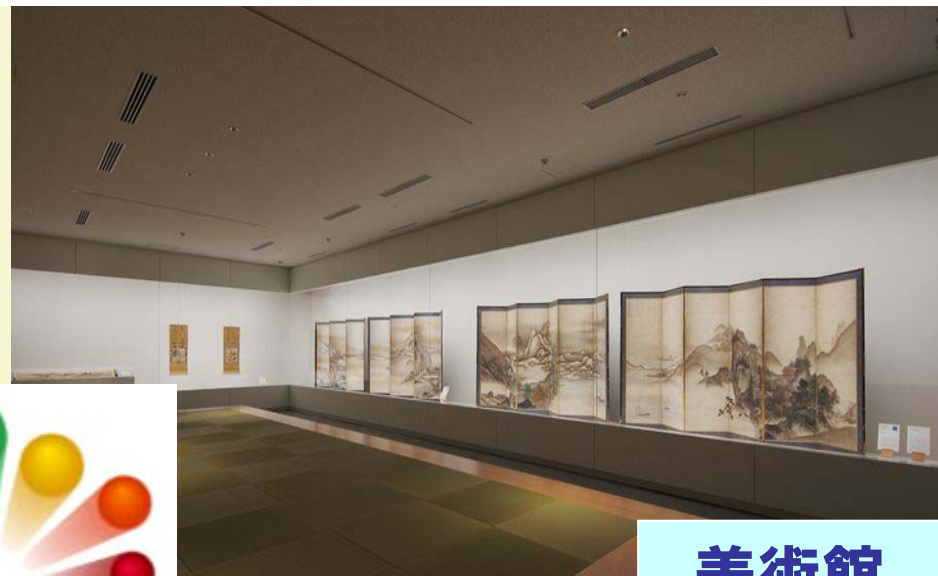
生鮮食品などのショーケース用照明

光源から熱を出さず  
生鮮食品を傷めず、店内の空調コストも抑制できます。

こんなに見え方が違います!  
特に赤い野菜や果物は自然光LEDの光で色が鮮やかに見えます。もちろん、手も自然光LEDのもとでは肌の色がきれいに見えます。



食品



美術館



ホテル・会場

